

君と共に

生徒指導・いじめ対策監だより



～新たな自分の可能性を拓く～

2022.5.26(木) 岐阜市立岩野田中学校

「熱」と「力」・「成長」・「感動」の体育祭をみんなの力で!

一日順延となった体育祭。やりたい気持ちを抑え、1時間目の授業に向かった君たち。やれなかった残念さを引きずってしまう気持ちはみんな持っていたけれど、それでも今できることに集中した。岩野田中は「日常」に軸足を置き、あらゆる活動が動く。決して「生活の柱」をいい加減にすることなく、全ての活動が自分たちの生活の中心につながりを持っていることを自覚し、一人一人が尊い互いの「日常」を創りだしている。この営み中で、困難を乗り越えていく力を互いに身に付けているといえる。変化に対応していく力が、これからの未来を切り開いてく力だとよく言われる。大げさかもしれないが、君たちの姿を見て、また、君たちと学びを創造している岩野田中の先生方の姿を見て、素敵だなとも思う。

今日のお弁当の味はどうだったかな? 体育祭がやれていたなら、もっと美味しかったかもしれない。達成感や充実感、やりきった思いや仲間との感動を共有しながらのお弁当はきっともっと美味しかっただろう。でも、おうちの方が作ってくれたお弁当には変わらない。自分たちの心のありようをどうコントロールできるか。変化をポジティブにとらえ、“今日の”お弁当を楽しみながらいただくことができたとしたら、おうちの方もきっと笑顔になられるだろう。そんなことを考えながら、みなさんの表情を目に浮かべた。

グラウンドに目をやると、曇り空の下、静まり返った空気、明日の体育祭を待つテントが並んでいる。昨日の放課後、全校の学級委員と係の生徒、先生方が倉庫からテントを出し、協力して組み立てた。その数13個。救護テントを合わせて15個。おもりと土嚢(どのも)もテントにつけた。バックネットにせっちした得点板。1年生の教室窓に付けた体育祭スローガン。誰もが楽しそうに準備していた。アキレスケンタウルスの体操をテント下で始める学級委員たち。1年生の学級委員もそれを真似しながら楽しそうに始めた。今朝も早くから、グラウンドで作業。放送の役割の生徒も準備した。一つの目標に向かってみんなが一丸となる。その一体感をみんなを感じあおう。今日の午前中、順延となった体育祭の企画を、校長先生、教頭先生、篠田教務、生徒会担当の先生方が、必死に考えておられた。もちろん担任の先生は、君たちに一番近い存在。君たちの体育祭への思いの息吹は誰よりも近くで感じておられるはず。みんな体育祭の成功のために動いている。順延になったけど、明日の体育祭はみんなの力で大成功させていこう。



Move On

～仲間と共に進む～